

ワークサポート杉並 だより

WORK SUPPORT SUGINAMI

発行 財団法人 杉並区障害者雇用支援事業団
〒168-0072 杉並区高井戸東4-10-26
TEL 03-5346-3250 FAX 03-5346-3253
<http://members.jcom.home.ne.jp/sugi-jigyodan/>

「たまり場」がスタートしました



誕生日の方を紹介しています



これからゲームが始まります

前号でお知らせした「たまり場」は、9月のスタート以来11月までに5回開催され、毎回約20名ほどの参加がありました。時間が夕食時にかかるため、食事の持ち込みも自由。各自が好きなものを食べながら仕事のことや仲間のことを話す様子は、とても仕事帰りとは思えないほど元気で、それぞれがお互いに元気をもらっているように感じます。

実行委員会形式で進行する会は、担当者がその日の予定を立ててすすめます。人の話を聞くというルールを厳守し、皆が納得する多数決で予定を決めるなど進行に不安はなく、全員が参加できるため、皆さんとても楽しそうです。ゲームには職員も参加しますが、担当者の説明・進行がとても上手で、毎回感心しています。

また、相手への気配りや表情など、仕事場では見られない新たな発見もあり、今後の支援に活かしていきたいと思います。

これからも利用者と意見交換を続けながらより良い「たまり場」を作っていきますので、ぜひご参加ください。

杉並区内の障害者施設等関係機関がメンバーとなっている『障害者雇用支援ネットワーク会議担当者会』を「すだちの里」で行いました

区内各施設の就労までの取り組みを知りたいとの声にこたえて、今年度は「お互いの施設を見てみよう」というテーマを設けて実施しています。その第1回として「すだちの里」で担当者会を行いました。施設職員や相談支援事業所の職員、特別支援学校の進路担当、福祉事務所、障害者生活支援課等から約20名が集まりました。

すだちの里の施設内を見学し、就労に向けての取り組みや訓練プログラムの説明、また訓練を経て就職した方の事例について話を聞きました。一方ですだちの里から「利用者の就労意欲をどうやって引き出すか？」という悩みが話され、それについてグループ討議を行いました。他の施設でも共通の悩みとあって、たくさんの意見が出されました。その中でも「利用者がもっと施設の外に出て、職場実習などの体験をすることで就労意欲につなげたい。」との声が、ほぼ全員の参加者からありました。

今後も担当者会で、施設間での実習がスムーズにできるための仕組みづくりや、企業等を利用した体験の場を増やしていく必要を感じました。

平成21年度第1回障害者雇用促進セミナー開催

ハローワーク新宿および東京都雇用開発協会主催の「障害者雇用促進セミナー」が、9月16日（水）に、企業の担当者を対象に実施されました。（ワークサポート杉並と東京障害者職業センター、新宿・中野の各就労支援機関の共催）当日は、最近の厳しい雇用情勢の影響か、例年より少ない126社・134名の参加でした。このセミナーは障害者の就労支援機関を利用して障害者雇用を積極的に進めている事例を紹介しながら、企業の方により理解を深めていただき、雇用を進めてもらえるよう実施するもので、今回は特に精神障害者の雇用にスポットをあてて実施されました。

第一部では、「特例子会社のハートフルエイム株式会社」の方が、企業における精神障害者の雇用の取り組みについて、ほかの障害と比較した雇用後の業務上の配慮などをわかりやすく説明されました。第二部では、「新宿区の精神障害者団体」の支援員の方が、障害特性の理解や具体的な支援方法についてクイズ形式など趣向を凝らして説明されました。

また、セミナーの最後に主催者から企業の方へ、障害者の職場体験実習の受入れのご協力をお願いしました。

ワークサポート杉並もいろいろな機会を通じて、企業への啓発活動を続けていきたいと思っております。



雇用促進セミナー

就職しました
(10月・11月)

老人介護	1名
事務補助	7名
洗濯業務	1名

福祉会館まつりに参加しました

10月17日（土）、ワークサポート杉並と同じ建物内にある障害者福祉会館で行われた、「福祉会館まつり」に参加しました。

ワークサポート杉並は、てんとう虫でのノウハウを活かしてコーヒーの販売を行いました。当日手伝ってくれた訓練生は、お客様から「コーヒーの香りがいいね」と言われ、嬉しそうに「ありがとうございます」と答えていました。このような経験が将来働くためのモチベーションにつながってくれると良いと思います。

また、ワークサポート杉並から就職した方々もコーナーに顔を見せに来てくれ、仕事のことなどたくさん話をしてくれました。定着支援の一環としても、働いている人の状況を確認できたり、普段と違った地域での姿を見ることができた一日でした。



写真については、ご本人の了解を得て掲載しています。